

大谷學報

第 三 卷 第 三 號

昭和十七年五月二十日發行

教の眞實性について

大須賀秀道 (一)

巴利毘曇禪定について

佐々木現順 (二)

十七條憲法に於ける佛教思想

富貴原章信 (三)

傳教の四宗相承と其の統一

松見得忍 (四)

「和」の現成

岩見護 (六)

學内叢報(七) 昭和拾七年度大谷大學文學部開講學科目及
講義題目(七) 大谷學會々則

大谷大學

大谷學會

大谷大學研究年報 第一輯

A 5 版 三百三十五頁
本 綴 箱 入

發 刊 の 辭

關 根 仁 應

宗教の受動性

鈴木 貞太郎

教行信證研究序說

稻 葉 秀 賢

——特にその構造について——

半島出身高仙芝の事蹟について

諏 訪 義 讓

人口の社會形態學的作用と都鄙教團

福 井 元 澄

古神道の基本的性格

德 重 淺 吉

○右年報第一輯を今年度の分とし、全甲種會員にお頒ち申し上げます
○大谷學會は甲種會員への頒布だけを取扱ひます

大谷學會々則

第一條 本會ハ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク

第二條 本會ハ大谷大學樹立ノ精神ニ基キ佛教學、哲學、史學及ヒ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ目的トス

第三條 本會ノ會員ハ(甲)大谷大學ノ專任教職員、研究科並ニ學部學生(乙)大谷大學ノ囑託教職員豫科專門部學生々徒ヲ以テ組織スソノ他本會ノ趣旨ニ賛同シ所定ノ會費ヲ納ムル者ハ(甲)又ハ(乙)會員ニ準ス

(乙)會員ハ希望ニヨリテ(甲)會員タルコトヲ得

第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ

一、年六回、雜誌「大谷學報」ヲ刊行シ全會員ニ頒ツ

二、年一回「大谷大學研究年報」ヲ刊行シ(甲)會員ニ頒ツ

三、每年秋季ニ大會ヲ開ク

四、隨時圖書ノ出版ヲナス

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長 大谷大學々長ヲ推ス

二、理事 大谷大學々監ヲ以テ任ス

三、委員 若干名會長ノ指名トシ任期ヲ二ケ年トス

第六條 役員ノ職責左ノ如シ

一、會長ハ本會ヲ代表シ委員會ヲ總理ス

二、理事ハ會長ヲ輔佐ス

三、委員ハ本會ノ諸事業ヲ企劃シ實行ス

第七條 會費トシテ甲會員ハ年額金五圓、乙會員ハ年額金參圓ヲ納ムルモノトス

第八條 本會則ハ委員會ノ決議ニアラサレハ變更スルヲ得ス

附則 一、本會ハ佛教研究會ヲ繼承ス

二、各研究室關係ノ學會ハ本會ニ屬スルモノトス

三、本會則ハ昭和十七年一月ヨリ實施ス 以上

大谷學會役員

會長 關根 仁應

理事 山邊 習學 英 秀雲

委員 稻葉 秀賢 大友 芳雄 金子 大榮

禿 諸住 坂本 弘 鈴木 弘

諏訪 義讓 龍山 章眞 (主任) 多屋 賴俊

外村 完二 中田 勇次郎 (補助) 荷葉 堅正

藤島 達朗 安井 廣濟 山口 益

山田 亮賢 (會計) 吉田 嘉一郎

前 號 要 目

第二十三卷
第二號

東林十八高賢傳の研究

松本文三郎

眞宗管見(下)

鈴木大拙

學寮開基法海院樹心傳資料

日野環

祖聖と老病死

名畑應順

緣起説
解釋に關する一私見

舟橋一哉

昭和十七年五月十五日印刷
昭和十七年五月二十日發行
第三號

定價金五拾錢(郵稅六錢)

編輯兼
發行者 大谷學會

右代表者 稻葉秀賢
印刷者 須磨勘兵衛

京都市北小路通新町西入

發行所 京都市烏丸頭
大谷大學内 大谷學會

振替 大阪六七一八五番

京都市神田區淡路町二ノ九

配給元 日本出版配給株式會社

大谷學會會費

甲會員 年額前納 金五圓

〔「大谷學報」と「大谷大學研究年報」
とを頒布〕

乙會員 年額前納 金參圓
〔「大谷學報」のみ頒布〕

日本標準規格A5 (148×210mm)